

肝細胞がん

1	Bev/テセントリク
2	サイラムザ
3	アイエコール動注
4	イミフィンジ+イジユド
5	イミフィンジ

化学療法計画書

治療法名	Bev/テセントリク		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	肝細胞がん 非小細胞肺癌維持		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署		主治医	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21			
テセントリク 1200 mg		↓											↓			
アバスタチン 15 mg/kg		↓											↓			
治療開始日									治療間隔	3週毎	予定コース数		コース			
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²	eGFR		eGFR/BSA		ml/min			

アバスタチン休薬基準
1.出血 G2→G0まで休薬
2.蛋白尿 100mg/dl以下
3.肝機能障害 G3以上
アバスタチン中止基準
1.2.5ml以上の鮮血の咯出
2.過敏症 G3以上
3.消化管穿孔・裂開
4.出血 G3以上
5.血栓症・塞栓症 G3(静脈系)
6.血栓症・塞栓症 G1(動脈系)
7.高血圧 G3以上(薬剤制御不可)
8.蛋白尿 G4 (ネフローゼ症候群)
9.中枢神経症状発現
注意: 毎回尿蛋白チェック、 1ヶ月に1回凝固系・線溶系の検査

Day 1	
インラインフィルターを使用	
1) 生理食塩液 50ml	血管確保
↓	
2) 生理食塩液 250ml	
テセントリク 1200mg	60分(初回)
↓	忍容性あれば 2コース目から30分で
3) 生理食塩液 50ml	全開
↓	
4) 生理食塩液 100ml	
アバスタチン 750mg	30分
↓	
5) 生理食塩液 50ml	フラッシュ用

化学療法計画書

治療法名		サイラムザ					
コース数		コース目					
腫瘍種		肝細胞がん 胃がん					
患者名				♂	年齢		
開始予定日		患者ID		生年月日			
		部署		主治医	科	Dr	
治療内容	Day	1 8 15 22 29					
	予定日	1/0		1/7		1/14	
サイラムザ	8 mg/kg	↓		↓		↓	
レスタミン	5錠	↓		↓		↓	
治療開始日		治療間隔	4週毎	予定コース数	コース		
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2		
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min				

開始投与基準 好中球 ≥ 1000 血小板 ≥ 75000 尿蛋白 : 100mg/以下 サイラムザの有害事象G2未満 AFP ≥ 400ng/ml
--

Day 1, 15
インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50ml 30分
 ↓
 1) 開始と共にレスタミン錠をのむ
- 2) 生理食塩液 250ml 1回目は60分
 サイラムザ 400mg 以後忍容性あれば
 (全量250ml) 30分
 ↓
- 3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

インフュージョンリアクション出現時 ⇒一旦中止 G1, 2の場合は対症療法後状況に応じて減速も考慮 G3, 4 は再投与しない

尿蛋白 100mg/dl以下でRAM投与 300mg/dl中止 減量 8→6→5mg/kg

高血圧	
G3未満	無症候性の場合⇒サイラムザ継続で降圧剤開始 症状あり⇒症状消失までサイラムザ中断で降圧薬継続 コントロール不良でサイラムザを2回中断するとき6mg/kg 更に延期が必要な場合、5mg/kgに減量
G3	無症状⇒強力な降圧剤を併用しサイラムザ継続 2週間こえてG3の場合降圧剤は継続、サイラムザ中止 2回以上中断時は6mg/kg、更に投与延期5mg/kg

化学療法計画書

2024年11月改訂

治療法名		アイエコール動注										
コース数		コース目										
腫瘍種		肝細胞がん										
患者名						♂	年齢					
患者ID		生年月日										
開始予定日						Dr						
治療内容		Day	1	2	3	4	5	6	8	15	22	29
		予定日	1/0						1/7	1/14	1/21	1/28
アイエコール		65 mg/m ²	↓									
パロノセトロン		0.75mg	↓									↓
デキサート		9.9mg	↓									↓
アロカリス		235mg	↓									↓
デカドロン		8 mg		↓	↓	↓						↓
オランザピン		5mg	↓	↓	↓	↓						↓
治療開始日			治療間隔		4-6週間		予定コース数		コース			
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²							
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min									

Day 1の投与可否の基準	
・ PS:0-2	
・ WBC ≥ 3000	
・ Plt ≥ 50,000	・ Hb ≥ 9.5
・ BUN : 25以下	
・ Cr : ULN以下	ULN以上の場合、以下の減量で投与考慮
	(CCr45-60(75%量) CCr30-45(50%量) CCr30未満中止)
・ PT活性 ≥ 50%以上	
・ 肝障害度C等の高度に肝機能が低下した患者	
(T-bil > 3.0、Alb < 3.0、ICGR ₁₅ (%) 40超)	

末梢メインルート (Day 1)

1) 生理食塩液	500ml	2h	10:00
2) 生理食塩液	500ml	2h	12:00
↓			
3) パロノセトロン	0.75mg	30分	14:00
デキサート	9.9mg		
アロカリス	235mg		
↓			
			4) 終了直後
			← 5) ラシックス 1A
↓			
6) 生理食塩液	1000ml	4h	14:30
KCL	1キット		
硫酸マグネシウム	1 A		

動注ルート

4) 生理食塩液	64ml	14:30
アイエコール	91mg	30分で動注

シリンジポンプ使用

オランザピンは糖尿病の患者に禁忌

- ★オランザピン5mgはday 1の夕から
- ★デカドロンはday2の朝から
- ★体重1kg増加⇒医師に報告 (利尿剤の考慮)
- ★day1からの飲水指導 (イオン飲料1Lを目安、イオン飲料不得手であれば他の水分可)

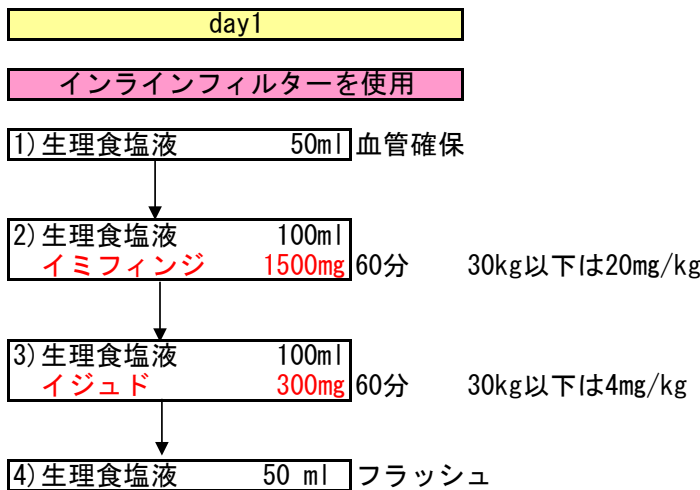
化学療法計画書

2023年5月作成

治療法名	イミフィンジ+イジユド		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	肝がん		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1 15 29 43 . . . 57 . . .
	予定日	1/0 1/28
イミフィンジ 1500 mg		↓
イジユド 300 mg		↓
治療開始日		治療間隔 4週毎 予定コース数 1 コース
身長 150 cm	体重 50 kg	BSA 1.40 m ²
eGFR 79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min



インフュージョンリアクションに注意

化学療法計画書

2023年5月作成

治療法名	イミフィンジ		
コース数		コース目	
腫瘍種	小細胞がん 胆道がん 肝がん		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	15	29	43	57
	予定日	1/0		1/28		
イミフィンジ	1500 mg	↓				
治療開始日		治療間隔	4週毎	予定コース数		コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²	
eGFR	79 mL/min	eGFR/BSA	64 mL/min			

day1

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保

2) 生理食塩液 100mL
イミフィンジ 1500mg 60分 30kg以下は20mg/kg

3) 生理食塩液 50 mL フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意